

平成30年度 第3回 鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会 会議録 (概要)

日 時 平成31年3月12日 (火) 午後2時00分から午後2時50分

場 所 鎌ヶ谷市役所地下1階 団体研修室

出席者 黒岩史郎会長、高橋貴子副会長、渡辺浩隆委員、山根清孝委員、鳥居律子委員、木藤直美委員、村田セツ子委員、櫻澤美智子委員、飯高優子委員、西出信夫委員、菊地謙委員、早坂ひとみ委員、本間恵委員 (鎌ヶ谷市健康増進課主幹)

欠席者 江間由紀夫委員、金田一正史委員、松村桂子委員、井手勝則委員、山本幸子委員、鈴木君江委員、高橋徹委員 (鎌ヶ谷市社会福祉課長)

事務局 (障がい福祉課) 齊藤実障がい福祉課長、遠藤善治課長補佐、星直子庶務係長、中村浩主任主事、鈴木俊雄
(もくせい園) 米良康史施設長
(鎌ヶ谷市基幹相談支援センターえがお) 渡辺恵美子所長、馬場武士

公開・非公開の区分 公開

傍聴者 0名

添付資料

- ・ 式次第
- ・ 資料1 「地域生活支援拠点等の整備の方向性について」
- ・ 資料2 「テーマ別チームの具体的検討課題の設定について」
- ・ テーマ別チーム第2回会議協議内容の整理 (案)
- ・ 平成30年度鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会委員名簿

<本日の傍聴人及び会議の出席状況について>

事務局より、出席者数(13名)が会議開催の定足数である「委員の過半数の出席」を満たしていること及び傍聴者が0名であることを報告した。

会長挨拶

お忙しい中お集まりいただいたことに感謝申し上げます。平成30年度は、本日が最後の鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会(以下「自立支援協議会」という。)になる。昨年度から今年度にかけては、特に自立支援協議会の専門部会の抜本的な見直しにご尽力いただき改めて感謝申し上げます。

地域生活支援拠点等整備の方向性について

事務局より資料1「地域生活支援拠点等の整備の方向性について」について説明。

会長

只今の説明について質疑があればお願いしたい。

会長

地域生活支援拠点等の必要な5つの機能のうち、①相談と⑤地域の体制づくりについては基幹相談支援センターが中心的な役割になり、それ以外を地域連携で作っていくという
ことか。

事務局

そういうことになる。

会長

鎌ヶ谷市として地域生活支援拠点で取り組む方向性について承認いただける方は挙手
をお願いしたい。

全会一致で承認

テーマ別チームの具体的検討課題の設定について

事務局より資料2「テーマ別チームの具体的検討課題の設定について」「テーマ別チーム第2回会議協議内容の整理(案)」について説明。

会長

只今の説明について質疑があればお願いしたい。

会長

今年度はフレーム作りで実際に動くのは来年度になる。来年度は、各チームで本格的に
検討を進めていき、自立支援協議会にも報告があがってくることになると思う。

その他 鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会委員の任期について

事務局

本日も参集の委員の皆様の任期は、平成31年3月31日で満了となり、新たに委員の
推薦をいただき委嘱することになる。4月中旬頃には各団体などに推薦依頼をすること
になると思うので、その際には協力をお願いしたい。

事務局（障がい福祉課長）

障がい福祉課長よりひとこと挨拶させていただく。自立支援協議会委員の皆様には、鎌
ヶ谷市の障がい福祉にご協力いただき感謝申し上げます。この3年間、鎌ヶ谷市の第5期障
がい福祉計画の策定、障がい者差別解消法の取組、専門部会の改編、基幹相談支援センタ
ーの設置等にご協力いただいた。障がい福祉を取り巻く課題は、地域生活支援拠点の整備
や精神障害に対応したケアシステムの構築等、たくさんある。引き続き協力をお願いした
い。

会長

障がいをお持ちの方を取り巻く生活条件も難しくなっている。法整備も進んでいくので、
自立支援協議会でも難しい課題も出てくると思うが今後とも協力をお願いしたい。

その他

特になし

会長 以上で協議会を終了する。

閉会

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成31年4月26日

氏名 飯高 優子 _____

氏名 高橋 貴子 _____